



鹿児島県立蒲生高等学校 進路指導部

楠鏡通信

平成 29 年度

～ 6 月号 ～

◆ 3 年生面接指導について ◆

6 月 7～9 日の 3 日間、3 年生は面接指導を受けました。今回の面接練習では、「高校生活について」「自己 P R」などの問いに答える準備がどの程度できているかを中心に行い、各生徒に担当の先生方より指導・助言をいただきました。

面接の状況については、しっかりと準備ができている生徒とそうでない生徒との差が大きく、特に質問に対する言葉の準備ができていない、あるいは表現が正しくないなど準備不足の生徒が目立ちました。一方、**2 年次 3 月の面接指導より随分しっかりとした立ち居振る舞いや話し方ができている**生徒もいました。

本校では推薦入試で受験する生徒が多く、また就職試験でも面接が実施されるため、毎年この時期の面接指導は 3 年生全員を対象に実施しています。3 年生は就職試験まであと 3 ヶ月。進学の実験も推薦入試は 4～5 ヶ月後にピークを迎えます。**試験直前に慌てることがないように**しっかりとした準備をしていきましょう。



6 月 2 0 日 (火) 進路ガイダンスについて

6 月 2 0 日 (火) に本校で開催される進路ガイダンスは、進学予定の生徒は各種学校担当者との面談が、就職予定の生徒は全般的なマナー指導を中心としたプログラムが計画されています。

進学予定者はほぼ進路先の学校を選定している時期ですが、他校あるいは他校種との比較により見えてくるものもあります。「決まっているから他の学校の説明は聞かなくてよい」ではなく、**広い視野で情報を集めるようにしてください。**

就職予定者はこれから会社を絞っていく生徒が多いと思います。「なりたい職業」を考えたとき、自身がどうあればその職業に就けるとおもいますか？こう考えることはもちろん重要ですが、わからなくなった場合、**「続けられる職業」**という観点で探すのも一案です。このためには、もちろん情報探しが重要であることは言うまでもありません。積極的に動きましょう。



◆ 1・2年のうちにすべきこと ◆

5月下旬～6月初旬にかけ、会社訪問や学校説明会に参加してきました。本校卒業生の様子はもちろん、会社や学校が現在どんな生徒に来てほしいかも聞いてきました。これらを元に「1年生・2年生のときに意識して過ごしてほしいこと」をいくつか明記しておきます。参考にしてください。

1年生…普通科は「**コース選択**」があります。最終決定は年度末ですが、一体何が違うのかを先生や先輩に尋ねてみましょう。これらが3学年の進路選定に繋がる人もいるようです。**意識してコース選択に臨めるようにしましょう。**

情報処理科は「**資格取得**」がテーマとなります。これが2年後のあなたを助けてくれる可能性があります。

2年生…3学期に「**面接指導**」があります。このときになって初めて『礼儀作法』を意識しだしても遅すぎます。普段から言葉遣いやお辞儀の仕方などを意識しておかないと、後で泣くことになりかねません。今できることは今しましょう。

◆ 始めなければ変わらない ◆

一学期も終わりに近づきました。「今しなければならぬことは何か」ということを考えながら生活している生徒も少なからずいると思います。

さて、しなければならぬことにはやはり**優先順位**があります。ただ、これを深く考えすぎるあまり、考えるだけで何も変わらないことも多いです。やりたいことが沢山あって、それらを全て同時に取り組もうと計画したけれど、実際には時間や体力などが理由により中途半端に終わってしまったことは誰しも経験があります。

これを防ぐことはなかなか難しいですが、「中途半端」にならないような行動は取れます。それは「**1つのことをとにかく始めること**」。カール・ヒルティ（名言をいくつも出しています）は、その著書である「幸福論」の中で次のことが大事だと述べています。「**時間を無駄なく活用するにはとにかく始めること**」。

言われてみれば、考えを行動に移すときに一番エネルギーを使うのは一歩目です。自転車に乗るとき、止まっている状態からペダルを回すときが一番エネルギーを使い、そのあとはスムーズに進みます。しかし、出発する前に、例えばハンドル操作間違えたら…とか転がっている小さな石ですべったら…などと考えすぎると、自転車に乗ること自体ができなくなります（考えることはもちろん大事ですが）。

そもそも、**とにかく始めなければ先に進まないわけですから、決めたらとにかく始めてみましょう。**考えすぎて前に進まないことによって困っていると考えるのはあなたではなく周囲の人かもしれません。困ったら周囲が助けてくれますからご心配なく。